

# 環境活動レポート

平成23年度

(平成23年4月1日～平成24年3月31日)

株式会社 シズデン

平成24年6月11日作成

## 目次

1. 組織の概要
2. 対象範囲
3. 環境方針
4. 環境目標
5. 環境活動計画
6. 環境目標の実績
7. 環境活動計画の取組結果とその評価、次年度の取組内容
8. 環境関連法規等の遵守状況の確認及び評価の結果並びに違反、訴訟等の有無
9. 代表者による全体評価と見直しの結果

## 1. 組織の概要

- 会社名及び代表者名

株式会社シズデン 代表取締役 増田 玲司

- 所在地

〒422-8006

静岡県静岡市駿河区曲金五丁目 17 番 5 号

TEL 054-284-4111 FAX 054-284-6753

- 責任者

株式会社シズデン 取締役営業部長 篠崎 和義

- 事業の概要

電気工事業 国土交通大臣 許可 特-23 第 19275 号

電気通信工事業、管工事業

国土交通大臣 許可 般-23 第 19275 号

創業 昭和 22 年 5 月 3 月決算

● 事業規模

活動規模	単位	実績(H23 年度)
<b>本社</b>	<b>静岡県静岡市駿河区曲金 5-17-5</b>	
工事等の件数	件	2,051
売上高	百万円	1,096.3
従業員	人	48
事務所床面積	m <sup>2</sup>	976
倉庫床面積	m <sup>2</sup>	295.02
<b>中部支店</b>	<b>静岡県島田市旗指 499-5</b>	
工事等の件数	件	96
売上高	百万円	139.4
従業員	人	4
事務所床面積	m <sup>2</sup>	53
倉庫床面積	m <sup>2</sup>	
<b>西部支店</b>	<b>静岡県浜松市東区葉新町 135</b>	
工事等の件数	件	218
売上高	百万円	223.7
従業員	人	3
事務所床面積	m <sup>2</sup>	57
倉庫床面積	m <sup>2</sup>	
<b>東部支店</b>	<b>静岡県沼津市岡宮字二又久保 1330-4</b>	
工事等の件数	件	385
売上高	百万円	390.3
従業員	人	7
事務所床面積	m <sup>2</sup>	50
倉庫床面積	m <sup>2</sup>	
<b>東京支店</b>	<b>東京都港区新橋 6-12-7</b>	
工事等の件数	件	172
売上高	百万円	1,283
従業員	人	14
事務所床面積	m <sup>2</sup>	191
倉庫床面積	m <sup>2</sup>	56.98

活動規模	単位	実績(H23 年度)
<b>神奈川支店</b>	<b>神奈川県藤沢市本町 3-1-3</b>	
工事等の件数	件	170
売上高	百万円	265.6
従業員	人	4
事務所床面積	m <sup>2</sup>	54
倉庫床面積	m <sup>2</sup>	

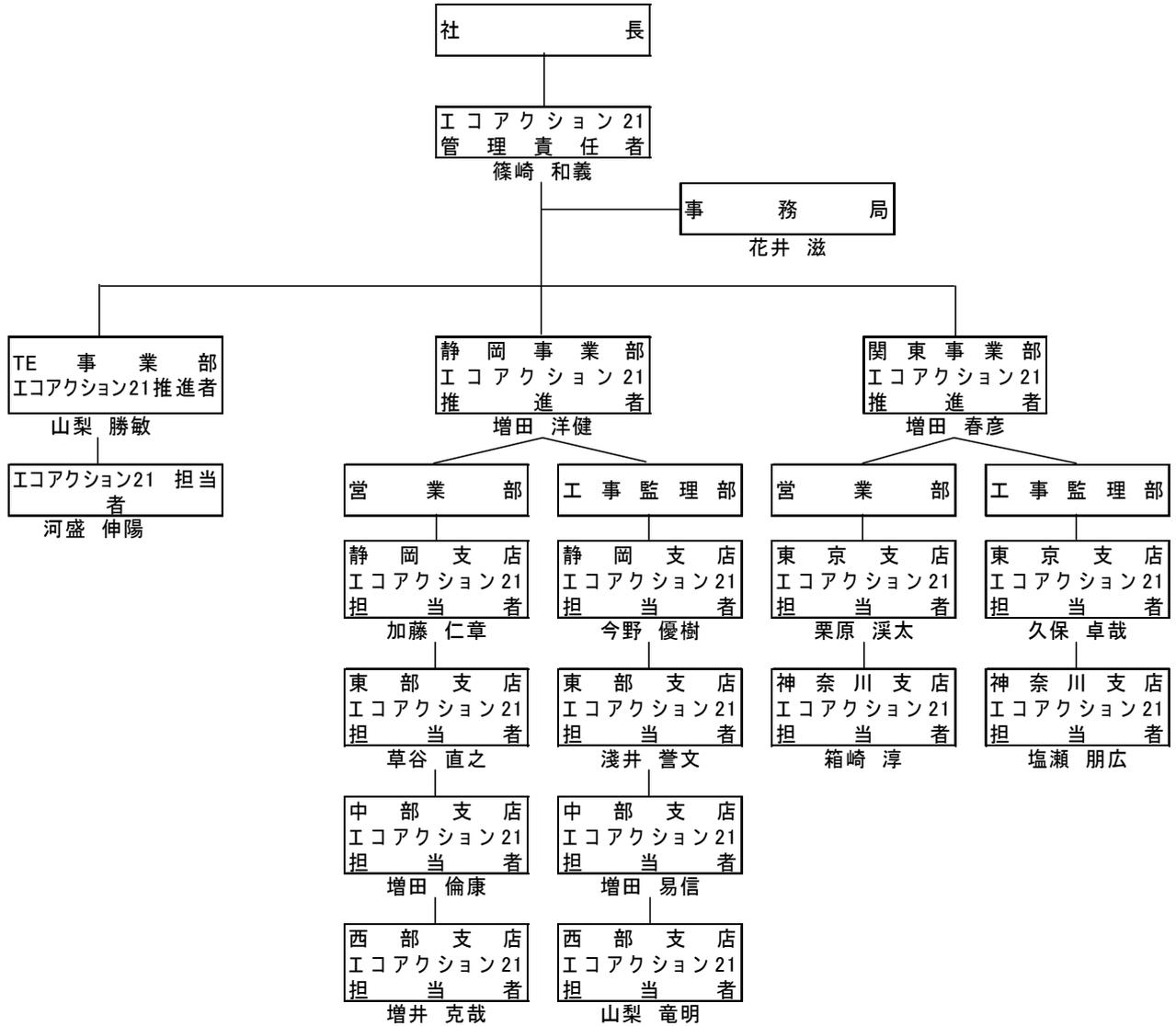
### 全社総計

活動規模	単位	実績(H23 年度)
工事等の件数	件	3,092
売上高	百万円	3,398.3
従業員	人	80
事務所床面積	m <sup>2</sup>	1,381
倉庫床面積	m <sup>2</sup>	352

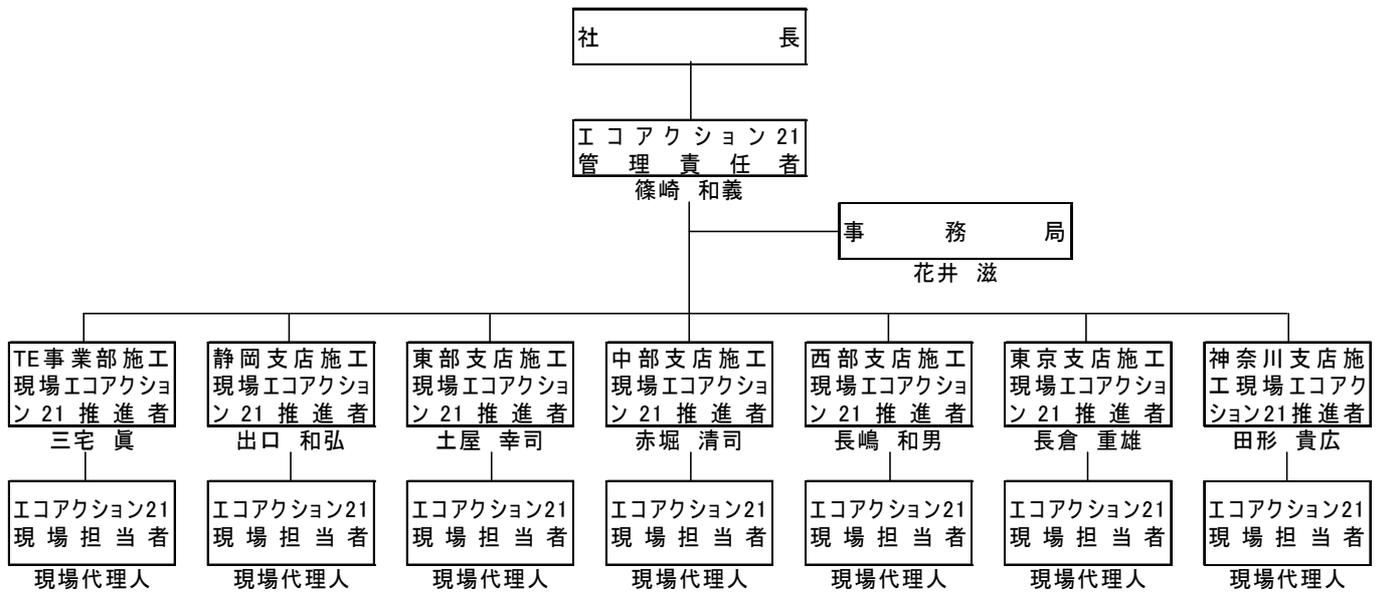
## 2. 対象範囲

対象範囲は全社・全部門です。 実施体制は下記のとおりです。

株式会社ズデン エコアクション21組織表(事務所)



株式会社ズデン エコアクション21組織表(施工現場)



- レポート対象期間

平成 23 年 4 月 1 日から平成 24 年 3 月 31 日の 1 年間

### 3. 環境方針

- 環境理念

株式会社シズデンは社員一丸となり、環境問題への取組を考え、環境への負荷を低減するように努めます。

- 行動方針

1. 環境関連法規制を遵守します。
2. 温暖化防止の為、業務用車両の効率的な利用等の促進を図り、二酸化炭素排出量の削減をします。
3. 事務所内における消費電力の低減をします。
4. 廃棄物の削減及びリサイクルの推進をします。
5. グリーン購入、グリーン販売に努めます。
6. 環境にやさしい工事を心がけます。
7. 環境方針を全社員に周知徹底すると共に、環境保全に関する意識を高め、環境保全状況の知識と認識の向上を図ります。

平成 24 年 4 月 1 日

株式会社シズデン

代表取締役 増田 玲司

## 4. 環境目標

本年度より対象部門を全社に拡大してデータの収集にあたりました。

このデータを基に新たに中期目標を作成しました。

### 対前年比 3%削減に取り組む

項目		単位	H23 年度基準年度	H24 年度	H25 年度	H226 年度	
二酸化炭素排出量	購入電力	KWh	191,096	185,363	179,802	174,407	
	化石燃料	ガソリン	ℓ	86,964	84,355	81,824	79,369
		軽油	ℓ	1,573	1,525	1,479	1,436
	CO2 排出量	Kg-CO2	292,806	284,021	275,500	267,235	
	総合距離	km	991,544	961,797	932,943	904,954	
	燃費	km/ℓ	11.40	11.7	12.0	12.3	
廃棄物総排出量	一般廃棄物	t	3.846	3.730	3.618	3.509	
	建設混合廃棄物	t	33.455	32.451	31.478	30.533	
総排水量	m <sup>2</sup>	※生活用水の為数値目標を設定せず節水に努める					

## 5. 環境活動計画

環境目標項目		計画内容
二酸化炭素 排出量の削減	電気使用量の削減	①省エネ型照明、空調の導入
		②休憩時の消灯
		③スイッチの適正管理
		④エレベーターの使用制限
		⑤エアコンの適正管理
		⑥クールビズ、ウォームビズの取組推進
		⑦NO 残業デーの取組推進
	化石燃料使用量の削減	①エコ運転、アイドリングストップの取組推進
		②車両点検票による車両管理推進
③エコカー導入		
廃棄物排出 量の削減	一般廃棄物リサイクル 及び最終廃棄物の削減	①裏紙使用、済封筒活用推進
		②書類のペーパーレス化
		③ゴミ分別の徹底
		④ペーパータオルの使用制限
		⑤資料の減量
		⑥図面用紙の再利用推進
	産業廃棄物発生抑制リ サイクル及び最終廃棄 物の削減	①産廃マニフェストによる適正管理
		②電線くずのリサイクル
		③蛍光灯のリサイクル
水使用量の削減		※生活用水の為数値目標を設定せず節水に努める
グリーン購入、販売の推進		グリーン購入、販売は目標を設定せず活動のみとします
環境配慮製品の推進		①低公害車の利用推進 ②低騒音機器の利用推進
環境配慮工事の推進		①施工計画書への反映と遵守 ②創意・工夫の提案

## 6. 環境目標の実績

項目		単位	H23 年度 目標	H23 年度 実績 本社	差額	H23 年度 実績 全 体
二酸化炭素排出量	購入電力	KWh	124,073	114,594	9,479	191,096
	化石燃料	ガソリン ℓ	33,832.19	29,528.02	4,304.17	86,964
		軽油 ℓ	428.06	214.3	213.76	1,573
	CO2 排出量	Kg-CO2	137,989	122,975	15,014	292,806
	総合距離	km	316,335	351,635	▲35,300	991,544
	燃費	km/ℓ	9.63	11.90	2.27	11.40
廃棄物総排出量	一般廃棄物	t	1.319	1.452	▲0.133	3.846
	産業廃棄物	t	37.60	24.87	12.73	39.635
	総排水量	m <sup>3</sup>	※生活用水の為数値目標を設定せず節水に努める			

## 7. 環境活動計画の取組結果とその評価、次年度の取組内容

(○：実施、△：一部実施、×：未実施)

環境目標項目		計画内容	取組		
			結果	評価	次年度取組
二酸化炭素排出量の削減	電力使用量の削減	①省エネ型照明、空調の導入	×	ビルオーナーへの提案を実施したが未実施	部分導入等提案計画を再検討する
		②休憩時の消灯	○	昼食休憩時 12:00～13:00 の消灯を徹底	引き続きより細かい箇所を含めて実施する
		③スイッチの適正管理	○	電気・空調機の制限の掲示をして啓発	換気扇も含め引き続き実施する
		④エレベーターの使用制限	△	階段利用を啓発するが未徹底	エレベーターの利用制限を明確化して実施の継続に努める
		⑤エアコンの適正管理	○	冷房は 28 度、暖房は 21 度を実施	引き続き適性管理し利用時間の短縮に努める
		⑥クールビズ、ウォームビズの取組推進	○	クールビズ利用期間延長して実施	引き続き実施して来客者への拡大を図る
		⑦NO 残業デーの取組推進	○	毎水曜日を NO 残業デーとし残業最長時間を 21 時を実施	水曜日プラス 1 日を実施して節電と健康促進に努める
	化石燃料使用量の削減	①エコ運転、アイドリングストップの取組推進	△	朝礼、会議等での啓発	省エネ努力の見える化(グラフ化)を進め啓発に努める
		②車両点検票による車両管理推進	○	空気圧チェック等を実施し車両管理の把握を啓発	引き続き実施する行動計画を作成しより効果的利用を進める
		③エコカー導入	×	低燃費車の導入を検討	燃費効率の悪い車両を選定し随時変更を検討する

環境目標項目		計画内容	取組		
			結果	評価	次年度取組
廃棄物 排出量 の削減	一般廃棄物リ サイクル及び 最終廃棄物の 削減	①裏紙使用、済封筒活 用推進	○	封筒、裏紙は裏面 印刷やメモ帳等 に利用した	引き続き実施する
		②書類のペーパーレ ス化	△	サイボウズを利用 しファイルの共有 化を一部実施	共有化率をアップさ せペーパーレス化を 推進する
		③ゴミ分別の徹底	○	可燃ごみ、不燃ご みの分別を実施し エコキャップ運動 に参加した	分別の細分化を実 施しリサイクル率の 向上を推進する
		④ペーパータオルの 使用制限	△	ジェットタオルを検 討したが未施工 ハンカチ持参を啓 発	引き続きハンカチの 利用を推進する
		⑤資料の減量	○	必要部数を把握し 最低限の印刷に 務めた	両面印刷、プロジェ クターの利用を検討 する
		⑥図面用紙の再利用 推進	△	A3サイズは裁断 しA4として利用	A1,A2 サイズの再利 用を検討する
	産業廃棄物発 生抑制リサイ クル及び最終 廃棄物の削減	①産廃マニフェスト による適正管理	○	電子マニフェストを 活用し分別を徹底	さらなる分別の徹底 でリサイクル率を上 げる
		②電線くずのリサイ クル	○	電線くず、金属くず の分別を実施	さらなる分別の徹底 でリサイクル率を上 げる
		③蛍光灯のリサイク ル	○	分別を徹底し粉碎 せずに収集した	引き続き継続する
環境配慮製品の推進	①低公害車の利用推 進	△	ダンプ、レッカー等 リース時のチェッ クを啓発	施工計画書等に明 示し積極利用に努め る	
	②低騒音機器の利用 推進	△	発電機、サンダー 等リース時のチェ ックを啓発	施工計画書等に明 示し積極利用に努め る	
環境配慮工事の推進	①施工計画書への反 映と遵守	○	現場行動方針を 作成し掲示した	引き続き継続する	
	②創意工夫の提案	○	5件の提案	Aランクで10件の提 案	

## 8 環境関連法規等の遵守状況の確認及び評価の結果並びに違反、訴訟等の有無

### 当社に適用される法規制等

法規・条例・規制	適用内容または規制基準値	備考	遵守状況
廃棄物の処理及び清掃に関する法律	廃棄物排出事業所との委託契約	契約(書)の締結	12.6/8
	マニフェストの管理	D票、E票の返却	12.6/8
	マニフェストの集計と報告	電子マニフェスト	12.6/8
	マニフェストの期間内返却	90日以内または180日以内	12.6/8
	マニフェストの保管	5年間	12.6/8
	投棄禁止	不法投棄を行わない	12.6/8
	廃棄物の悪臭・飛散防止	車両荷台にシートを被せる等	12.6/8
	保管場所への掲示	60cm×60cm 以上掲示	12.6/8
建設リサイクル法 (元請けの場合)	建設副産物リサイクル計画書	請負契約書交付(工事施工計画書)	
	再資源化完了報告書	実施(完了)報告	
静岡市一般廃棄物処理に関する条例	一般廃棄物の分別排出		12.6/8
騒音・振動規制法 (電気工事)	指定地域での特定建設作業	特定建設作業の届出	
	指定地域での作業日、時間帯規制	規制時間、作業日の厳守	
家電リサイクル法	指定家電の収集	テレビ・冷蔵庫 他	12.6/8
PCリサイクル法	OA機器の収集	パソコン・モニタ 他	12.6/8
環境基本値	一般的な自主努力		12.6/8
地球温暖化対策推進法	温室効果ガス抑制措置	自治体施策へ協力	12.6/8
循環型社会形成推進基本法	3Rへの努力	廃棄物等の内、有用な物の循環的な利用を促進	12.6/8
グリーン購入法	環境物品の購入	事業者の一般的責務	12.6/8
自動車リサイクル法	引取業者への引渡し	リサイクル料金の支払い	12.6/8

法規・条例・規制	適用内容または規制基準値	備考	遵守状況
建設業法	工事業者許可と更新	許可と5年ごとの更新	12.6/8
電気工事業法	電気工事業基準	基準の遵守	12.6/8

## ● 違反・訴訟等

環境関連法規等の遵守状況を確認した結果、法規違反及び訴訟は過去 3 年間ありませんでした。近隣住民や周辺企業等の外部からの苦情もありませんでした。今後も法令・条例等を遵守しながら事業活動・環境活動に努めます。

## 9.代表者による全体評価と見直しの結果

全体評価	①環境目標	本年度より対象範囲を全社に拡大していますが、電気使用量は本社単独では大幅な削減を達成し成果が出ています。
	②環境活動計画	ほぼ達成できています。継続での更なる創意工夫が重要となります。
	③環境関連法規等の遵守状況	特に問題はありません
見直しの結果	①環境方針の変更の必要性	(有 ・ なし)
	②環境目標の変更の必要性	(有 ・ なし)
	③環境活動計画変更の必要性	(有 ・ なし)
	④環境経営システムの変更の必要性	(有 ・ なし)
指摘事項	<p>・今回から対象範囲が全社となりました。 本社のリーダーシップで全部門一丸となり目標達成に向かって下さい。</p> <p>シズデンからグループ各社にエコの輪を広げグループ全体でのエコアクションとなることを願います。</p>	